

伊勢原乗り物フェスタ2015で自衛隊をPR

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平1陸尉）は、9月13日（日）、伊勢原自動車学校で行われた「伊勢原乗り物フェスタ2015」に参加した。

当日は、地元消防署や警察の装備車両等展示のほか、自衛隊車両（1/2トトラック）の展示や乗車体験そして迷彩服の試着体験を行い、車両展示では地元住民等、多くの来場者が熱心に見入っていた。また、迷彩服の試着体験では、多く家族連れが子供たちの記念写真を撮って大いに盛り上がった。

平塚地域事務所は、「今後も、地域に密着した募集・広報活動を積極的に行い、自衛隊に対する正しい理解と、近い将来この中から一人でも多く自衛官を志願してくれることを期待し、募集広報を継続していきたい」としている。



迷彩服試着



一般広報・説明等

横浜中法人会厚木基地研修支援

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井1海尉）は、9月16日（水）、海上自衛隊厚木航空基地において横浜中法人会（19名）の部隊研修を支援した。

基地周辺の参加者は、厚木基地メインゲートでセキュリティチェックを受ける時から普段と違う環境に「日本じゃないみたいだ」と驚きの声を上げていた。

研修は、資料館見学、体験喫食、航空機見学、地上救難班見学の順で行われ、参加者はそれぞれの研修先での説明に興味深く聞き入っていた。特に体験喫食では「想像と違って意外とヘルシーな食事ですね」とイメージと現実のギャップを感じていた。また、地上救難班研修では実際に消防車両に搭乗して放水作業を体験し、なかなかできない経験にとっても興奮した様子であった。参加者が全て経営者であることもあり、就職支援、予備自衛官制度の概要についても説明し、自衛隊に関する理解の深化を図った。

厚木募集案内所では、「今後も、部隊研修を通じて自衛隊を知ってもらうことで、募集環境を整え任務達成に邁進していきたい」としている。



P-3Cの前で集合写真



地上救難班で消防車両研修



資料館で説明を受ける参加者

海老名綾瀬父兄会座間駐屯地研修支援

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井1海尉）は、9月18日（金）、座間駐屯地において海老名綾瀬父兄会（会長 大槻氏以下16名）の部隊研修を支援した。

研修では当初、概要説明を受け、資料館、地下壕、米軍ヘリポートの順に施設見学した。参加者は、真剣な面持ちで座間駐屯地概要説明に聞き入り、「厚木基地との交流はあるんですか?」「他に米軍と自衛隊が共有している施設はありますか?」など活発に質問していた。また、地下壕見学では戦時中に使われた壕に入り、明るさ、室温など当時に近い環境を実際に体験した。全般を通して参加者からは、「座間駐屯地が現在まで果たしてきた役割を深く知ることができ、大変有意義な研修でした」との感想が聞かれ、とても充実した研修となった。

厚木募集案内所は、「今後も、部隊研修を通じて協力団体に対し自衛隊を知ってもらう、募集基盤の拡充に努め任務達成に邁進していく」としている。



地下壕見学の様子



概要説明の様子